

対象教科・科目	単位数	対象学科・学年・クラス	備考
地理歴史	2 単位	流通経済科・情報科学科	3 年 4 クラス 必履修科目

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	近現代史を中心とする我が国の歴史の展開を、世界史的に立ち、我が国を取り巻く国際環境などと関連づけて考察させることによって、歴史的思考力を培い、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。
使用教科書	高等学校 改訂版 日本史 A 人・くらし・未来 (第一学習社 日 A 312)
副教材等	

2 学習計画

学期	学習項目	学習の具体的内容
1 学期	第 1 部 私達の時代と歴史 第 2 部 近現代の日本と世界 第 1 章 近代国家の形成と国際関係の推移 第 1 節 近代への胎動 ①せまってくる外国船 ②ちからを蓄える庶民 ③近代思想のいぶき ④揺らぐ幕藩体制 第 2 節 開国と幕末の動乱 ①黒船がやってきた ②志士たちの時代 ③手を結ぶ薩長 ④近代との出会い ⑤江戸幕府が終わり新政府へ	自分自身の経験と関連させながら 1990 年代以降の社会の様子を理解する。 江戸時代の日本の対外関係について理解する。 近世後半の産業、教育や学問・思想などの発展について理解し、さらに、これらが近代文化の基盤となったことを理解する。 江戸時代後期の幕藩体制の動揺と諸藩の改革について理解する。 開国に至る経緯と、幕府の対応について理解する。 開国以後の情勢について、幕府が崩壊した一連の流れを理解する。
	第 3 節 近代国家の確立 ①江戸が東京になった ②天皇の軍隊がつくられた ③スローガンは「富国強兵」 ④欧米文化がはいつてきた ⑤日本の国境が定まった ⑥爆発する農民や士族の不满 ⑦国会開設が決まった ⑧地主制が進行した ⑨立憲政治がはじまった ⑩国会がはじめて開かれた 第 4 節 国際関係の推移と近代産業の展開 ①欧米と肩を並べる国をめざして ②清国との対立が深まった ③藩閥と政党が接近した ④ロシアとの戦争がおこった ⑤アジアへの勢力拡大がはじまる ⑥国民の生活が圧迫された ⑦綿糸と生糸を支えた産業革命 ⑧欧米の資本主義に仲間入りした ⑨貧富の差が広がった ⑩国家主義が台頭した ⑪教育が進化した ⑫明治の文化が開花した	幕末から明治初期の使節・留学生の派遣、外国人の招聘により欧米文化が導入されたことを理解する。 明治政府の初期の諸政策によって、近代日本の基礎が形成されたことを理解する。 明治政府の中央集権化・藩閥専制の傾向に対し、自由民権運動がおこり、国民の政治的関心が高揚し憲法制定・国会開設に至る、一連の動きを理解する。 初期の外交政策は、欧米に対しては不平等条約の改正、一方、アジア諸国に対しては強硬な態度で臨んだことを理解する。 この時期に、日本の領土が国際的に確定したことも理解する。 明治前半では、条約改正が最大の外交課題であり、この克服においては、国際情勢と国内情勢の推移が密接に関係し、進められたことを理解する。 日清・日露戦争の経緯と結果、また、この戦争を経て、アジアに対して日本が勢力の拡張をおこなったことを理解する。 明治後半から大正期において、国内的に政党政治が展開したことを理解する。 日清・日露戦争の過程で、日本に産業革命がおこり、資本主義が確立したことを理解する。 資本主義の発展によって産業構造が変化し、これにともない、都市における貧民問題や労働問題など、様々な社会問題が発生したことを理解する。
2 学期	第 2 章 両大戦をめぐる国際情勢 第 1 節 第一次世界大戦と日本 ①民衆が政治を動かした ②最初の世界大戦に日本も参戦した ③成金の時代がやってきた ④朝鮮・中国の民衆が立ち上がった ⑤日本は欧米に歩調をあわせた ⑥「平民宰相」が登場した ⑦抑圧からの解放をめざして ⑧新しい文化とモダンな都市が生まれた ⑨学問と芸術に新風が吹く 第 2 節 第二次世界大戦と日本 ①恐慌の嵐が吹きあれる ②日本の外交が行きづまる ③軍部の暴走がはじまった ④中国との長い戦いがはじまった ⑤戦争の影がくらしにおよぶ ⑥すべてが戦争に協力させられた ⑦アメリカとの戦争がはじまった ⑧戦争が拡大する ⑨アジア・太平洋の諸民族にかかわった ⑩生活も戦争に染まった ⑪戦争が終わった	国家主義思想や大正デモクラシーの風潮に着目して、明治期と大正期の思想の違いについて理解する。 社会運動の広がりとともに、大正期には女性解放運動が展開したことを理解する。 国民統制において、教育政策や国家主義的思想が果たした役割について理解する。 明治～昭和初期の文化的業績について理解する。 明治～昭和初期の文化の背景としての都市生活の発展について理解する。 第一次世界大戦に日本が参戦した意図、また第一次世界大戦を通しての日本の外交方針について理解する。 第一次世界大戦後、国際的に民族運動が高まったことについて理解する。 第一次世界大戦が日本に与えた経済的影響について理解する。 国内的な第一次世界大戦以後の慢性的な不況と、国際的な世界恐慌による資本主義諸国の経済危機について把握し、日本および各国が、このような状況をどのように克服していったのかを理解する。 軍部の台頭の過程と、これにともなう政治的な状況の変化について理解する。 中国・アメリカを中心とした国際関係の変化にも着目しながら、太平洋戦争に至る過程を理解する。 太平洋戦争に至る過程のなかで、国民生活はどのように変化したのかを理解する。 日本がアジア諸国に対して与えた影響について理解する。
	第 3 章 現代の日本と世界 第 1 節 日本の再出発 ①占領軍がやってきた ②日本が生まれかわる ③新しい国のしくみ ④飢えとのたたかい ⑤飢えのなかでも解放感があった ⑥民主化から経済復興へ ⑦復興への転機到来 ⑧複雑な環境のなかでの独立	第二次世界大戦後の連合国による対日占領政策、民主化の諸改革の内容について理解する。 日本国憲法について、その制定までの過程や内容の特徴を理解する。 日本の経済復興の過程を理解する。 戦後の深刻な国民生活の実態について理解する。 国際的な冷戦のはじまりと、日本に対する占領政策の転換からサンフランシスコ平和条約の締結に至る経緯と背景について、理解する。 主権回復後の日本の国内的な政治の推移と、新しい外交関係の確立の動きについて理解する。 高度経済成長の実態と、その歴史的意義について理解する。 石油危機にともなう日本国内の動きを、国際情勢の動向をふまえて、理解する。 国際的な冷戦の終結後の世界情勢と、国内的な 55 年体制の崩壊について理解する。 現在の日本がかかえる諸課題について、国際社会での役割、国内的な問題という面から理解する。
3 学期	第 2 節 独立後の政治と経済の発展 ①平和への願いが叫ばれた ②保守と革新の正面衝突 ③奇跡の経済成長がはじまった ④奇跡の経済成長の影 ⑤あらたな戦争にまきこまれた ⑥豊かさの中流意識 第 3 節 現代の日本と世界 ①2つのショック ②経済大国が誕生した ③消費はファッションになった ④バブルはこうしてふくらんだ ⑤大きな歴史の転換をむかえた ⑥政局と経済が混迷する ⑦これからの日本について考えよう ⑧時代の転換点に立って	敗戦後の国民生活について、食料不足などの危機的状況にあったことを理解する。一方で、アメリカ文化をはじめとする新たな文化的動向についても理解する。 高度経済成長期において、科学技術の発達、産業構造の変化、消費の拡大など、これを機におきた変化の内容について理解する。 高度経済成長期には、経済発展の一方で、都市化、農山漁村の過疎化、公害の発生など、さまざまな社会問題が表面化したことを理解する。 1970 年代以降の消費生活の変化、その背景としての家族形態の変化について理解する。 1990 年代以降の国民生活については、経済的背景としての雇用状況の変化、また、ネットワークの発展が大きなキーワードであることを理解する。

3 評価の観点、内容および評価方法

評価の観点および内容	評価方法
関心・意欲・態度	近現代史を中心とする我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。 定期考査 学習状況観察
思考・判断・表現	近現代史を中心とする我が国の歴史の展開から課題を見だし、世界史的視野に立ち我が国を取り巻く国際環境などと関連付けて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。 定期考査 授業プリント
技能	近現代史を中心とする我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現する。 定期考査 学習状況観察
知識・理解	近現代史を中心とする我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を世界史的視野に立ち、我が国を取り巻く国際環境などと関連付けて理解し、その知識を身に付けている。 定期考査 授業プリント

